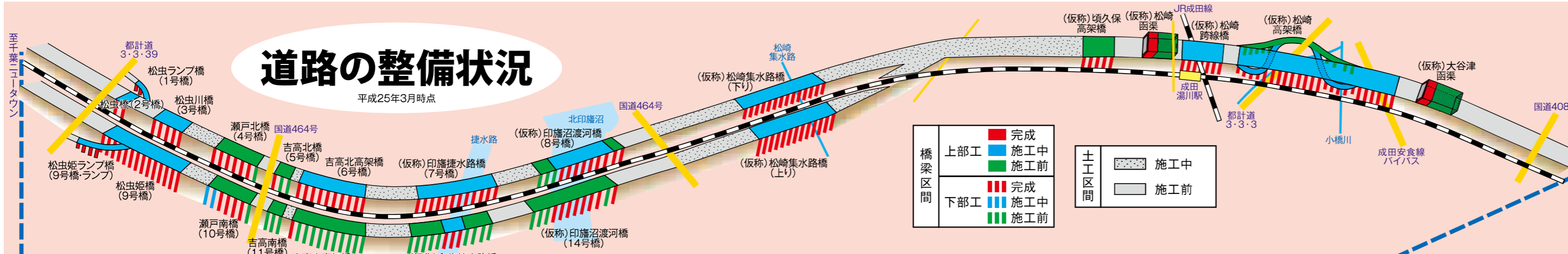
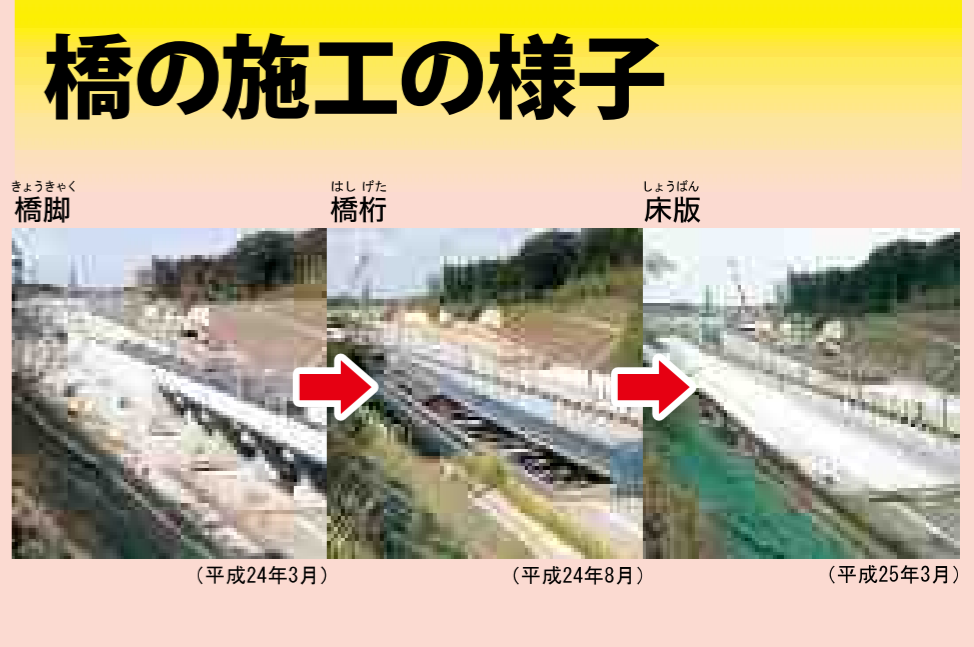
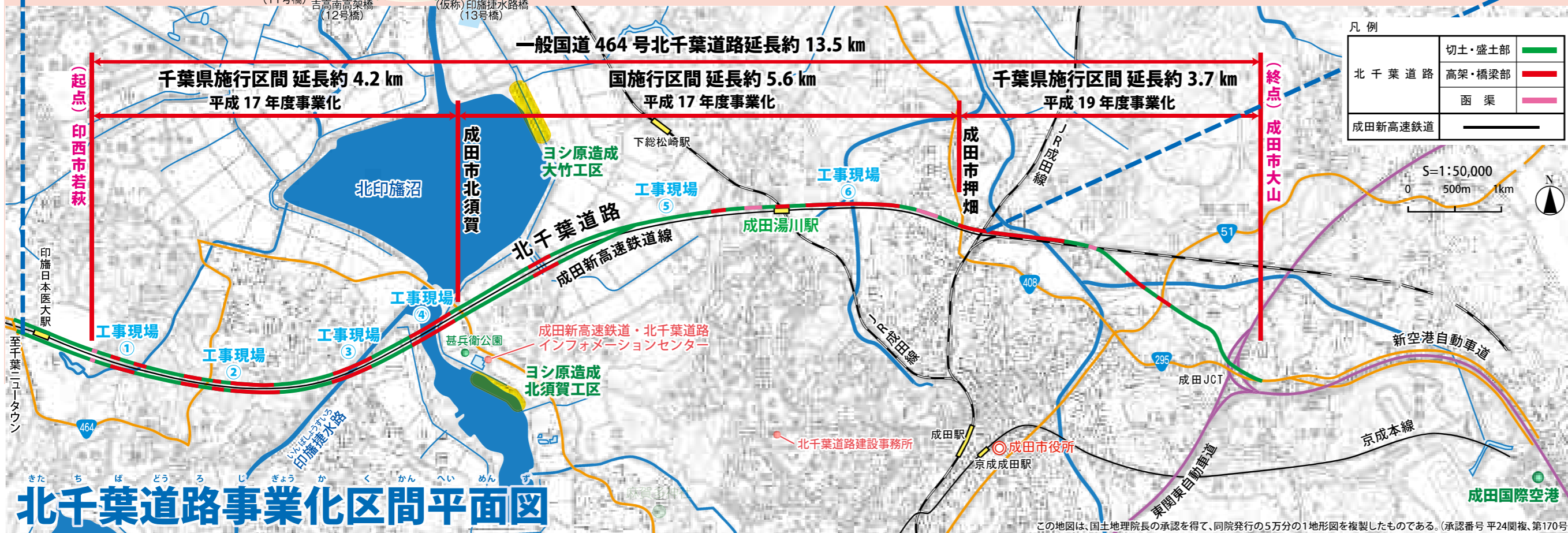


道路の整備状況

平成25年3月時点



北千葉道路には、たくさんの橋が架かります。これは、地形を変えることを出来るだけ少なくして道路づくりをすすめているからです。橋は、橋を支える「橋脚」、その上に架かる「橋桁」、橋桁の上に「床版」(下の写真参照)、その上に舗装が行われると道路が完成します。
 起点から国道464号、成田市北須賀までは、橋梁が多い区間であり、上下線を合わせて14橋が架かります。



一般国道464号北千葉道路は、常磐自動車道と東関東自動車道(水戸線)のほぼ中間に位置し、首都圏の東京外かく環状道路から千葉ニュータウンを経て成田国際空港を結ぶ全長約43kmの幹線道路です。
 約13.5km事業化区間は、起点の印西市若萩から成田市北須賀間の約4.2kmを千葉県が、成田市北須賀から成田市押畑間の約5.6kmを国が、そして、成田市押畑から終点の成田市大山間の約3.7kmを千葉県がそれぞれ施行します。
 このうち、印西市若萩から成田市松崎までの約8.4kmについては、平成28年度の部分供用を目指して工事を進めています。

進む建設工事

すすむけんせつこうじ



建設工事の様子

<p>北千葉道路(下) 12.25m</p> <p>成田新高速鉄道 9.5m</p> <p>北千葉道路(上) 12.25m</p> <p>工事現場①切土部(鉄道併設部) 印西市松虫付近</p> <p>(平成21年2月)</p>	<p>北千葉道路(下) 12.25m</p> <p>成田新高速鉄道 9.3m</p> <p>北千葉道路(上) 8.75m</p> <p>工事現場②盛土部(鉄道併設部) 印西市吉高付近</p> <p>(平成21年4月)</p>	<p>北千葉道路(下) 11.75m</p> <p>成田新高速鉄道 9.3m</p> <p>北千葉道路(上) 8.25m</p> <p>工事現場③高架・橋梁部(鉄道併設部) 印西市吉高付近(仮称・印旛捷水路橋)</p> <p>(平成21年11月)</p>	<p>北千葉道路(下) 11.75m</p> <p>成田新高速鉄道 9.3m</p> <p>北千葉道路(上) 8.25m</p> <p>工事現場④高架・橋梁部(一体下部工) 印西市吉高干拓~成田市北須賀付近(仮称・印旛沼渡河橋)</p> <p>(平成21年4月)</p>	<p>北千葉道路(下) 21.75m</p> <p>成田新高速鉄道 9.3m</p> <p>工事現場⑤盛土部(鉄道併設部) 成田市八代付近</p> <p>(平成21年3月)</p>	<p>北千葉道路(下) 21.75m</p> <p>成田新高速鉄道(上) 9.3m</p> <p>工事現場⑥高架・橋梁部(鉄道併設部) 成田市松崎付近(仮称・松崎高架橋)</p> <p>(平成21年3月)</p>
(平成25年3月)	(平成25年3月)	(平成25年3月)	(平成25年3月)	(平成25年2月)	(平成25年2月)

北千葉道路の整備効果

東葛飾地域と成田国際空港のアクセス向上

東葛飾地域(松戸市・柏市周辺)から成田地域への移動時間が大幅に短縮



~北千葉道路の主な効果~

- ① 地域の活性化
- ② 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
- ③ 広域道路ネットワークの強化・物流の効率化
- ④ 救急医療・防災機能の強化